

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援工ミエル			
○保護者評価実施期間	2026-02-01 0:00:00		～	2026-02-28 0:00:00
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026-02-01 0:00:00		～	2026-02-20 0:00:00
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026-03-31 0:00:00			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの充実と5領域を意識した支援を実施し、個々の発達段階に応じた療育を提供している。	季節行事や運動・感覚遊び・個別課題を組み合わせ、子どもの興味や目標に応じて活動内容を柔軟に調整している。	活動記録や振り返りを蓄積し、効果の高いプログラムを継続するとともに、新しい教材や活動も取り入れ支援の質を向上させる。
2	保護者との情報共有や相談体制が充実し、日常的な信頼関係が構築できている。	送迎時の情報共有、面談、連絡ツールを活用し、家庭と事業所が同じ方向性で支援できるよう努めている。	支援計画の進捗や成長をより見える化し、保護者が変化を実感できる資料や情報発信をさらに充実させる。
3	関係機関との連携を積極的に行い、就園・就学や家庭支援につながる体制を整えている。	保育園・幼稚園・相談支援専門員・学校等と情報共有を行い、支援方法の統一を図っている。	地域との連携をさらに深め、移行支援や地域資源の活用を充実させる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族支援プログラムなど、保護者同士が交流する機会は十分とはいえない。	個別相談を中心に支援しており、集団での情報交換の機会を設けていない。	保護者のニーズを把握しながら、小規模な交流会や情報提供の場を段階的に検討する。
2	地域交流や地域に開かれた事業運営は今後さらに充実させる必要がある。	安全面や運営体制を優先し、地域交流の機会が限られている。	地域行事や関係機関との交流機会を活用し、無理のない範囲で地域とのつながりを広げる。
3	支援内容や成長の見える化について、さらに分かりやすい情報発信が必要である。	日々様子は伝えているが、支援目標との関連が十分伝わらない場合がある。	支援計画と活動記録を関連付けた説明や写真等を活用し、保護者へより分かりやすく伝える。